

宮本たかし 県政 NEWS

2015夏号
Vol.17

宮本 たかし 事務所

〒915-0876 越前市白崎町73-1-3 3F
電話
ファックス **0778-22-6633**



宮本たかしからのご挨拶

お盆も過ぎたとは言え、暑い日が続いておりますが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。早いもので四月十二日の選挙より四ヶ月の月日が流れました。その節には皆様に大変お世話になり身に残る結果を頂きました。法律上の規制もあり、この場にてお礼を申し上げることができませんが、私の意のある所をお汲取り頂ければ幸いです。

現在、六月議会を終え、その活動の中で応援頂いた方々の票の重みをひしひしと感じつつ元気に二期目をスタートさせて頂きました。

今回、厚生常任委員会の委員長ということで地域福祉や環境、原発など多くの県政課題と向き合うことになりましたが、議員として活動できる喜びをかみしめ頑張っております。今後共、どうぞよろしくお願い申し上げます。

宮本 俊

次回からの「県政ニュース」の送付について

現在、皆様へは郵送にてこの県政ニュースをお届けしておりますが、より多くの有権者の方々にお目に留まるように、また郵送コストの削減と言う意味でも次回より新聞折り込みにてお届けしたいと考えております。皆様には事情を御賢察の上御理解を賜りますようお願い申し上げます。

< 6月補正予算について >

4月12日の統一地方選後初となる6月議会が、6月24日から7月17日の日程で開催されました。今年度は知事、議員の改選年度にあたるため、2月議会では継続的な案件など骨格予算のみ編成し、個別の細かい点においては今議会で肉付け予算として審議することになりました。

従って例年の6月議会にて審議される補正予算に比べ今回は規模も大きく多方面に渡っています。補正予算額は一般会計において**233億円**、この結果平成27年度の6月現計は**4,823億円**と、比較対象となる平成26年度当初予算と比べ横ばいの状況となっています。

(単位：億円、%)

会計区分	27年度			26年度 当初予算	増 減	伸び率
	当初予算	6月補正	6月現計			
一般会計	4,590	233	4,823	4,823	0	0.0
特別会計	120	6	126	121	5	4.0
企業会計	351	5	356	382	△26	△6.8
計	5,061	244	5,305	5,326	△21	△0.4

以下に気になったものについて記載します。

1. 移住・定住事業

- 産業人材 U・I ターン促進事業：県内企業の人材確保のため、人材紹介会社等と連携して産業人材のU・Iターンを促進する。 1,461 万円
- 地方発「小さな世界企業」ドラマ化事業：ふるさと知事ネットワーク構成県が連携し、ネット配信ドラマを作成。各県の県民性や中小企業を紹介、U・Iターンを促進。首都圏学生向けイベントの開催。 2,551 万円
- 結婚 U ターン応援事業：首都圏在住の本県出身女性を対象に出会いの場を創出し、結婚 U ターンを後押し。 163 万円

昨年より政府が打ち出している地方創生関連事業がいくつか見られています。県外へ流出した方々がU・Iターンで福井に戻って頂くのは県としても喫緊の課題です。県は福井市のアオッサや東京の「ふるさと回帰支援センター」等にオフィスを設定。ふるさと帰住候補者への相談窓口としてフォローしています。

2. 福井国体関連事業

- 福井しあわせ元気国体・大会開催準備事業：国体／全国障害者スポーツ大会の準備・検討。「1県民1参加」「1県民1スポーツ」「1県民1自慢」を基本とする県民運動の展開。 2,959万円
- 競技力向上対策事業：「福井しあわせ元気国体」に向け、計画的に選手強化対策を実施し、ジュニア層から指導者までを育成。 2,691万円
- オリンピック事前キャンプ誘致広報事業：2020年の東京オリンピック／パラリンピックにおけるキャンプ対象国に情報発信しキャンプ誘致を進める。 108万円

3年後に開催予定の福井国体について動きが活発化してきています。知事は福井国体において本県は総合優勝を目指すと言明。指導者、選手の誘致も含め積極的な動きが見られ始めました。遅まきながらやっと火がついてきたとの印象です。

3. 医療・福祉関連事業

- 陽子線がん治療センター体制強化事業：陽子線治療の効果向上や患者負担軽減、利用者増加につなげる新たな研究体制を整備。 382万円

陽子線がん治療センターは福井が誇る最先端治療の中心です。



< 6月議会一般質問 >

2期目のスタートに辺り一般質問をさせていただきました。以下に主な点の要約と解説を記載いたします。(★が私の質問、☆が知事及び理事者の答弁、□内が解説です。)



★ 知事は座ぶとん集会の中で県民を導くべくその思いを発信しリーダーシップを発揮すべきではないか。

☆「座ぶとん集会」については、私自身が現地に出向き、平生いろんな団体、またはそういうところに属さず発言のない、またいろんな実践活動をしているけれども十分説明のできていない人たちの生の意見をお聴きする場として実施している。そういう場なのでこちらから県政課題への誘導にはそぐわないと考えている。

かねがね、知事はふるさと政策や教育など、個別政策については的を得た政策を実施していると考えています。しかしながら、県のトップとしての県をこういう方向性で引っ張って行きたいとのリーダーシップがもう少しあったらと、いつも残念に思っています。せめて御自分が設定される「座ぶとん集会」の中くらいはそうあってほしいと思い質しました。原発再稼働や新幹線のルートを含め、やはり知事は自分の考えを前面に押し出すことを避ける傾向があるようです。

★ 県経済新戦略推進本部が1年前倒しで見直しとりまとめた経済新戦略は、ボリューム的に倍以上となったが、知事はこの戦略にどのような思いがあるか。

☆ 経済新戦略については、北陸新幹線の敦賀開業前倒し等の高速交通体系の整備進展や、急速な少子高齢化と人口減少問題など、本県を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、1年前倒しで見直しを行った。この見直しについては、私が重要な視点であると考えていた、○成長分野への展開、国内外の需要を取り込む戦略をさらに次の段階に進めること ○人材の育成や、都会から企業、女性・若者を呼び込むこと ○地域を支える、地域の商店やいろんなお店など、小さい企業を応援することなどについて、経済戦略の中でより強く取り入れるという政策にした。

本来であれば来年にその見直し改定が予定されていた「経済新戦略」が本年前倒しで改訂されました。知事の言う通り地方創生の荒波の中、経済政策も待ったなしの状態です。福井県の中小企業にとってどんな支援が一番効果的なのかを常に頭に入れつつ、この計画の進捗をフォローしていきます。



★ 経済新戦略にうたわれたインダストリー4.0やI o Tを導入する県内企業支援について、その需要がどの程度あるのか、また、県内経済の底上げにどの程度寄与するのか。

☆ I o Tやビッグデータ、人工知能(AI)を駆使した、ビジネスや社会に大きな変革をもたらす第4次産業革命と呼ばれる世界的な流れがある。国は、先日改訂された日本再興戦略、成長戦略第3弾において、行政や企業の今後求められる対応方針を早急にとりまとめ、対応している。県内企業の需要は、例えば多品種の少量生産を効率的に処理することが可能となる。議員指摘のとおり、経済新戦略策定においても県内企業経営者からは、まず十分に勉強、検討が必要であるという声があった。県では今後、県内のものづくり企業、情報システム関連企業とともに、導入についての理解を深め、新たなビジネス創出の可能性を検討していく。

この分野、確かに成長分野であることは間違いないと考えていますので、見栄えのするものではあると感じています。しかし現状の福井の製造業においてどれだけの需要があるのか、また実質的な福井経済への波及効果についても疑問があります。この分野の進捗についてもフォローして行きます。

<県政メモ12 ～NHK大河ドラマの誘致について>

NHK大河ドラマのファンの皆様も沢山いらっしゃるのではと考えています。今議会、知事は「福井の偉人ブランド発信事業」として334万円を予算計上。平成30年に福井を題材にした大河ドラマの作成要望活動(誘致活動)を開始すると明言いたしました。

さてさて、では福井の何を題材に誘致活動をおこなっていくかという問題なのですが、いくつかのポイントがあります。知事や観光営業部のヒアリングからですが、誘致を成功させるための取り上げるテーマとしては以下のようないくつかのポイントがあります。



- 1年間、50回の放映に足りうる多様なエピソードがあること
- 全国的な知名度がある主人公が設定でき、主人公のみならず多くの歴史的な有名人が登場し、その人間関係が描けること
- 時代にマッチしたメッセージを発信できる事

このようなことから知事からは、「福井藩士として、福井藩の財政改革に手腕を発揮し、明治政府の財政・金融政策を担当、政府最初の紙幣「太政官札」を発行した。また、政府の基本方針を示す「五箇条の御誓文」の原案作りを行い、その後は東京府知事になり、銀座通りの整備にも取り組んだ」として由利公正をその候補としてあげました。脇を固める偉人として橋本左内や松平春嶽もあげられ、3年後の平成30年は明治維新150周年にあたり、明治維新を懐古する機運にもマッチするとのことでした。

ここまでは報道にも取り上げられた点ですが、大小いくつかの課題があり、スムーズに事は進まないとも感じています。その課題とは。。。

1. 大河ドラマは暗黙の了解的に戦国時代と幕末を交互に取り上げる傾向があり、H26年、現在が幕末の吉田松陰を主人公とした「花燃ゆ」、来年は戦国時代の真田幸村の「真田丸」、平成29年はまだ決まっていないものの幕末の偉人を取り上げるようです。そうすると、明治維新150年の平成30年には戦国時代の人物を取り上げることになってしまいます。NHKがこの不文律(?)を破って2年連続で幕末をテーマにするかどうかは疑問です。また、最近は戦国時代の方が幕末より視聴率がいいという傾向もあるようです。
2. 大河ドラマの誘致の一つの目的には放映時期に沢山の観光客の入れ込みが見込めるという点があります。皆様御賢察の通り平成30年は福井国体の年です。先日、9月29日から11日間の日程で行われることが正式に決定致しました。実はこの国体、選手団の宿泊のキャパもまだ確保できていない状態。秋の観光シーズンに大河ドラマをみた観光客が福井に宿泊できないという事態が予想されます。
3. 実は福井県議会では県に対し、大河ドラマの誘致を働きかけていた経緯があり、重鎮議員の中には「大河ドラマはお市の方(柴田勝家の妻)で！」と訴えてきた方もいらしたり、朝倉義景を代表とする朝倉氏の拠点となった一乗谷を地盤とする議員もいます。知事があげた由利公正をすんなり受け入れるか不透明な部分もあります。



私としては県民の方々に明治政府の基礎を作った偉人たちの事を知って頂くという意味でも知事のあげた由利公正が題材としてふさわしいと思っています。今後の誘致活動をしっかり見守り、いろんな提言を行っていかれたらと考えています。



1月3日 恒例の市剣道連盟の初稽古。過去何年も試し斬りに挑戦しているのですが、スパッと切れたことは一度もありません。来年こそはがんばります。

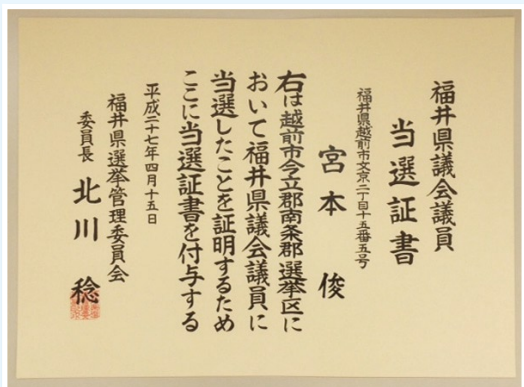
2月25日 越前市民スキー大会。なごやかな開会式にてスタートしました。



朝の街頭演説風景です。寒かったですが行き交う車の中から手を振って頂けた声援には元気が出ました。



4月5日 選挙遊説中の一コマ。序盤戦につき、まだ元気なポーズが取れています。



今回の選挙で頂いた当选証書。皆様のおかげで身に余る結果を頂きました。

5月3日 神山地区「馬借街道in神山」川上区長会長も馬の着ぐるみで参加です！





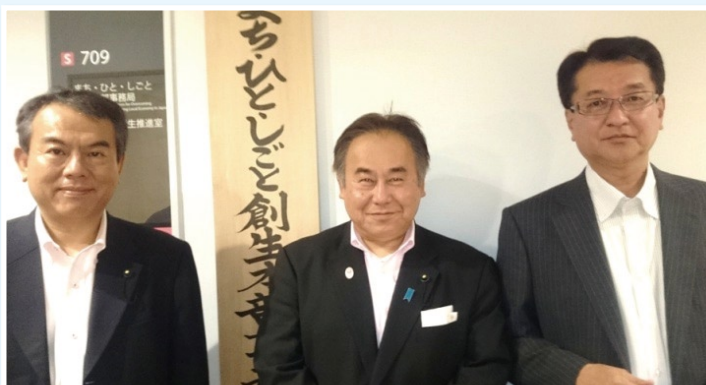
5月3日 恒例の壺の市にて東地区おかみさん会のヘルシーチキンバーガーを頂きました。おいしかったあ！



5月23日 南地区「第2回紫蘭まつり」に参加。地元県議としてご挨拶をさせていただきました。



5月31日 自民党武生支部主催のセミナーで講師をして頂いた野田聖子先生と。お話をし、さっぱりとした性格が伝わる素敵な方でした。



6月10日 内閣府の「ひと・まち・しごと創生本部」事務局を訪問。同僚の大森、鈴木両県議と。



6月11日 「南青山ふくい291」を訪問。館長の井上氏のお話を伺いました。



6月23日 北新庄地区遺族会の清掃活動に参加。

